

各企業等の社会貢献活動

骨髄ドナー休暇制度導入企業認定

命救う行動の輪広げる

紀の國建設 渡島松山で初



左から紀國専務、
紀國社長、酒井室
長

ドナー休暇制度を設けた企業・団体を認定して、鈴木直道知事と小寺良尚日本骨髄バンク理事長の連名によるメッセージ文書を交付している。

【函館発】紀の國建設(株) (函館、紀國隆二社長)は、道から骨髄ドナー休暇制度導入企業の認定を受けた。渡島・檜山管内では初。26日には、渡島総合振興局保健行政室の酒井仁室長と丹羽ひとみ健康推進課長が同

社を訪問。紀國社長と紀國隆介専務に謝意を示すメッセージ文書を交付し、命を救う行動をたたえた。道は、治療が困難な血液がんなどに向き合う患者の命を一人でも多く救えるよう、骨髄移植に関する制度の充実に尽力。協力を促す環境を創出するため、骨髄

現在までに31者が認定を受けており、渡島・檜山管内では同社が初。社員が骨髄ドナーとして協力の意思を示した場合、特別休暇を与えることを就業規則に明記した。感謝の気持ちが込められたメッセージ文書を受け取った紀國社長は「地域に

根差す企業として、事業推進に役立つことができれば「幸い」と強調。紀國専務は「説明会などを通じて事業

への理解を深め、命を救う輪を広げていけたら」と意欲を示した。